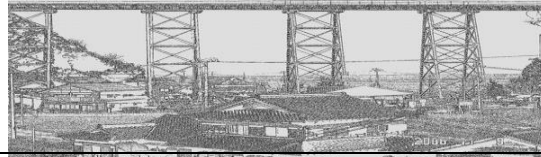


# 鉄橋

～心の架け橋～



第526号

令和3年11月号の1  
香美町立余部小学校

薄と橋梁



11月に入り、余部の山々はめっきり色づきました。気温は10度を切る日もあり、厚手の服を一枚羽織るようになりました。コロナ感染者数が減少傾向にあるという報道に接し、このまま終息に向かうことを願うとともに、第6波に備えて引き続き予防対策を講じつつ、教育活動を展開していきたいと思ひます。こうした中、10月末には「学習発表会」を、11月上旬には「持久走大会」を実施しました。行事を通じて成長する子どもたちの姿を見ることができました。

## 学習発表会

10月31日(日)体育館で学習発表会を開催しました。参加者を限定しての実施となりましたが、子どもたちは元気にステージ発表をしました。低学年は、テレビ番組をアレンジし、劇風にしてみんなを楽しませてくれました。

中学年は各々の得技を表現した後、絵本のお話を英語劇として発表しました。高学年は、「幸せの青い鳥」を最初から最後まで英語で表現しました。長い英語の台詞を淀みなく表現することができました。どの学年もこの日に向けて練習を重ねてきました。緊張していた子どもたちが最後には堂々と表現することができました。

個人情報保護のため  
掲載を控えます

個人情報保護のため  
掲載を控えます

1・2年生 劇「チコちゃんにほめられる」

個人情報保護のため  
掲載を控えます

3・4年生 英語劇遊び「はらぺこ あおむし」

個人情報保護のため  
掲載を控えます

個人情報保護のため  
掲載を控えます

個人情報保護のため  
掲載を控えます

## 躍動する走り 持久走大会



## さけが今年も還ってきました

11月になり、今年も長谷川にサケが還ってきました。サケは約4年もの間、故郷を離れ、遠くベーリング海まで回遊し大きくなって還ってきます。河口付近で約10匹、五反畑橋付近で約4匹、ギヤラリー余部付近で約2匹泳いでいる姿が確認できました。子どもたちの手によって放流した稚魚が大きく成長した姿をまた、見ることができました。

11月4日(木)持久走大会を実施しました。低学年は800m、中学年は1000m、高学年は1500mを走りました。この日に向けて体育の授業や放課後練習を行ってきました。スタートラインに並んだ子どもたちは、どの顔も緊張感でいっぱい。ピストルの音とともに駆け出す姿は、躍動感でいっぱい。稲刈りを終えた田んぼの中を走る列からは、荒々しい息遣いが聞こえそうです。沿道から応援する声が子どもたちを後押しします。必死の形相で駆けるその姿に感動すら覚えます。

## コラム

10月27日から11月9日は読書週間であった。新聞に読書に関する世論調査が掲載されていた。

読書が人生を豊かにしてくれると「思う」人は88%。本を読んで考え方や人生観に影響を受けたことが「ある」68%、特に18才〜29才で74%に上った。読書は若い世代ほど心に響く傾向があるようだ。一方、この一か月で本を何冊読んだかの質問では、読まなかった人は50%であった。(読売新聞)

2017年大阪大学文学部の学部長が卒業式で次のような言葉を学生に贈った。「文学部の学問が本領を発揮するのは人生の岐路に立った時ではないかと思ひます。：就職しても家庭に入ったとしても一生涯続けることができます。お金はあまり要りません。少しの書籍と考える頭さえあればたいていは間に合います。」(二部抜粋)

小学校では、今、図書委員会が中心となつて読書推進の取り組みをしている。低学年は本をたくさん読み、図書室へ足を運ぶことを、高学年は図書分類番号0〜9の本を読むことで、視野を広げることがをねらいとして呼びかけている。

若い世代の人たちが読書することは言うに及ばず、それなりの年齢になつたとしても読書は、心を豊かにしてくれる。高校生の頃、紙石鹸を葉がわりにしていて、本を開くたびにいい香りがした。秋の夜長、本を開こうと自分に言い聞かせている。